

国立京都国際会館施設の拡充・整備促進について

【関係省庁】外務省 財務省 国土交通省 観光庁

政府においては、観光立国の実現に向けて、MICEの開催誘致を積極的に推進されているところですが、近年、特に近隣アジア諸国においては、MICEを国家の主要産業と位置づけ、最新の設備を備えた施設を整備するなど、国を挙げて誘致を繰り広げています。

このような状況の中、日本が激化するMICE誘致競争を勝ち抜き、より強力に誘致するため、我が国を代表する国際会議施設である**国立京都国際会館施設の拡充・整備を進めて**いただくよう要望します。

<国土交通省・観光庁の概算要求>

■ MICEの開催・誘致の推進 4.4億円

大きな経済波及効果を有するMICEの積極的な誘致・開催の推進を図るため、海外プロモーション、人材育成等の事業を確実に実施する。

■ 官民連携による民間資金を最大限活用した成長戦略の推進

14.1億円(新規)

厳しい財政状況の中で民間資金の活用を拡大し、真に必要な社会資本の整備及び維持管理を着実にを行うと共に、経済成長や雇用創出等に資するため、PPP/PFI事業による社会資本の整備・管理に向けた制度設計、実施可能性の調査を実施する。



<京都府からの要望>

国立京都国際会館に5,000人規模の大型会議場や展示場として活用できる多目的ホールの整備を進めるための調査費を予算化し、施設の拡充・整備を推進してください。

<京都府の具体的な取組>

- ・京都市をはじめ関係団体と共同したMICE誘致の推進
(財)京都文化交流コンベンションビューローによる活動への支援)
- ・「コンベンションパスポート」の発行や国際キャッシュカード対応店舗の拡大、着地型観光プログラムの推進などにより、地域が共同してMICE誘致の競争力強化を図る。

京都府の現状・課題等

○ 国内外の主要な国際会議場の状況

国名	会議場名	大会議場収容数
日本	国立京都国際会館（現行）	1,840名
	同上（整備後）	5,000名

日本	国立横浜会議場（パシフィコ横浜）	5,000名
日本	東京国際フォーラム	5,000名
日本	大阪国際会議場	2,754名
アメリカ	ワシントン州立会議センター	7,500名
イギリス	アールズコートアンドオリンピア	22,000名
カナダ	モントリオール会議センター	4,000名
ドイツ	ベルリン国際会議センター	5,008名
フランス	パリ国際会議場	3,700名
シンガポール	シンガポール国際会議・展示場	12,000名
中国	ホンコン会議・展示センター	8,400名
韓国	コエックス会議・展示センター	7,000名
オーストラリア	シドニー展示・会議センター	3,500名

○ 京都が、積極的に誘致活動をしたものの国立京都国際会館のスペース不足により、開催が見送られた会議の代表事例

年度	国際会議名	要請スペース	開催地
平成 14 年度	国際感染症学会	3,000 人程度の会議スペース 4,000 m ² の展示場 10 の分科会会場	シンガポール
平成 14 年度	第 14 回 世界心臓学会議	5,000 人規模の会議スペース 1,000 人収容のホール(3 箇所) 200 人収容の会場(10 箇所)	オーストラリア
平成 25 年度	国際小児科学会	5,000 人程度の会議スペース 12,000 m ² の展示場	オーストラリア

【京都府の担当部局】

知事直轄組織 国際課 075-414-4313

商工労働観光部 観光課 075-414-4841